



ファームウェア バージョン：	DES-1210-08P	4.10.004
	DES-1210-28	
	DES-1210-28P	
	DES-1210-52	
ハードウェア バージョン：	DES-1210-08P	C1
	DES-1210-28	
	DES-1210-28P	
	DES-1210-52	
発行日：	2016/3/14	

本リリースノートには、D-Link 製スイッチのファームウェア更新に関する重要な情報が含まれています。ご使用のスイッチに対応するリリースノートであることを確認してください。

- 新しいスイッチにインストールを行う際には、デバイス上のハードウェアバージョンの表示を確認し、ご使用のスイッチがファームウェアのシステム要件を満たしていることを確認してください。ファームウェアとハードウェアの互換性についての詳細情報は、“変更履歴とシステム要件”の項を参照してください。
- 新しくリリースされたファームウェアへのアップグレードを行う場合は、“アップグレード手順”の項を参照しながら正しい手順でファームウェアのアップグレードを行ってください。

スイッチ本体に関する詳細な情報が必要な場合は“ユーザマニュアル”を参照してください。

目次:

変更履歴とシステム要件:	2
アップグレード時の注意事項:	2
アップグレード手順:	2
追加機能:	7
MIB および D-View モジュールの変更点:	7
修正した問題点:	7
既知の問題:	8

変更履歴とシステム要件：

ファームウェアバージョン	リリース日付	モデル	ハードウェアバージョン
4.10.004	2016/3/14	DES-1210-08P	C1
		DES-1210-28	
		DES-1210-28P	
		DES-1210-52	

アップグレード時の注意事項：

ファームウェアのアップグレードを行う際に TFTP を使用する場合は、セーフガードエンジン機能を無効にする必要がありますのでご注意ください。

アップグレード手順：

CLI(Telnet 経由)を使用するアップグレード

1. スイッチと PC 間でネットワーク接続が確立されているかをご確認ください。
2. Telnet をサポートしているソフトウェア（例えばハイパーターミナルや Microsoft Windows の Telnet コマンド）を使ってスイッチに接続します。
Telnet コマンドを使う場合は、スイッチの IP アドレスに合わせてコマンドを入力してください。
例：telnet 10.90.90.90
3. ユーザ名とパスワードの入力を求められます。
工場出荷時のユーザ名およびパスワードは admin です。
4. ファームウェアをアップグレードするには、以下のコマンドを実行します。

コマンド	説明
download { firmware_fromTFTP cfg_fromTFTP } {<ipaddr> <ipv6addr>} <path_filename>	TFTP サーバからスイッチにファームウェアをダウンロードします。
show switch	スイッチの現在のファームウェアバージョン及びブートコードバージョンを表示します。

※CLI コマンドの詳細は WebGUI マニュアルの「コマンドラインインタフェース」の章を参照ください。

5. 次の例を参考にファームウェアのアップデートを行ってください。

(1) ファームウェアを本製品にダウンロードします。

```
DES-1210-08P> download firmware_fromTFTP 10.90.90.100 DES-1210-08P-C1-4-10-004.hex
```

```
Device will reboot after firmware upgraded successfully
```

```
Image Updated Successful
```

※ スイッチへのファームウェアのダウンロードが正常に完了すると、自動的にスイッチが再起動します。

(2) 再起動後、「show switch」コマンドを使用して、ファームウェアがアップグレードされているか確認してください。

```
DES-1210-08P> show switch
```

System name	:
System Contact	:
System Location	:
System up time	: 0 days, 0 hrs, 0 min, 26 secs
System Time	: 01/01/2013 00:00:15
System hardware version	: C1
System firmware version	: 4.10.004
System boot version	: 1.00.009
System serial number	: QBBH3EC000001
MAC Address	: 3C-1E-04-F0-BD-04

注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

Web-UI を使用するアップグレード

1. Java SE runtime environment をダウンロードして、お客様の PC にインストールします。
2. ブラウザを起動し、システムの IP アドレスを指定してスイッチにアクセスします。
デフォルトのシステム IP アドレス：10.90.90.90
デフォルトのログインパスワード：admin
3. Tools メニューから[Firmware Backup & Upgrade]を選択します。



4. [Firmware Backup and Upgrade]画面では、「HTTP」もしくは「TFTP」経由でファームウェアのアップグレードを行うことができます。

HTTP 経由でファームウェアのアップグレードを行う場合：

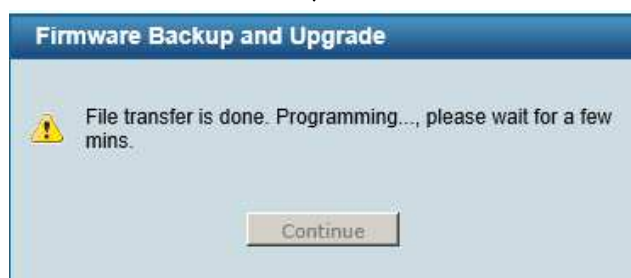
- (1) [HTTP]にチェックをいれます。
- (2) [参照]/[Browse]ボタンをクリックしてローカル PC 内のファームウェアファイルを指定 → [Upgrade]ボタンをクリックします。
- (3) [Upgrade]ボタンをクリックした後、次のメッセージが表示されるので[OK]をクリックします。



- (4) 続いて、次のメッセージが表示されるので、[OK]をクリックします。



- (5) ファームウェアのアップグレードが開始します。
以下の順で画面が表示されますのでそのままお待ちください。



注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

- (6) 以下の画面が表示されるので、デバイスの再起動完了後に、再度ログインを行ってください。



- (7) [Device Information]画面でファームウェアがアップグレードされたことを確認してください。

TFTP 経由でファームウェアのアップグレードを行う場合：

※TFTP を使用する場合は、セーフガードエンジン機能を無効にする必要がありますのでご注意ください。

- (1) [TFTP] を選択します。
- (2) [TFTP Server IP Address]と[TFTP File Name]を入力 → [Upgrade]ボタンをクリックします。
- (3) [Upgrade]ボタンをクリックすると、次のメッセージが表示されるので、[OK]ボタンをクリックします。



- (4) 以下の画面が表示されるので、[Continue]ボタンをクリックします。



[Continue]ボタンをクリックすると、[Firmware Backup and Upgrade]画面に戻りますが、ファームウェアのアップグレードは継続されています。
アップグレードが終了すると、スイッチは自動的に再起動します。

ファームウェアのアップグレードの経過を確認する際は、ご使用の TFTP サーバのログを確認し、アップグレードが終了したか否かを確認してください。

注意：ファームウェアのダウンロード中およびスイッチの再起動中に、電源を切らないでください。電源を切ると、起動に失敗し、起動できなくなることがあります。故障の原因となりますので、ご注意ください。

- (5) スwitchの再起動後に再度ログインし、Device Information 画面でファームウェアがアップグレードされたことを確認してください。

追加機能：

ファームウェアバージョン	追加機能
4.10.004	1. WebUI で Legacy PD モードオプションをサポート致しました。

D-View モジュールおよび MIB の変更点：

ファームウェアバージョン	MIB	変更点
4.10.004	DES-1210-08P-BX-4-10-002.mib DES-1210-28-BX-4-10-002.mib DES-1210-28P-BX-4-10-002.mib DES-1210-52-BX-4-10-002.mib	Legacy PD モードオプションをサポート致しました。

ファームウェアバージョン	D-View モジュール	変更点
4.10.004	—	特になし

修正した問題点：

ファームウェアバージョン	修正した問題点
4.10.004	<ol style="list-style-type: none"> EEE のデフォルトを無効に変更致しました。 HTTP で WebUI に接続した際のセキュリティを強化致しました。 LACP リンクで STP コスト (External Root Cost) が正しくない問題を修正致しました。 http://10.90.90.90/config.bin もしくは http://10.90.90.90/config.cfg を開いたとき、スイッチが再起動する問題を修正致しました。 DoS Prevention を有効にした際、IP 電話のトラフィックがブロックされることがある問題を修正致しました。 802.1Q の VLAN を割り当てたポートで、一つのポートを削除すると、このポートに他の VLAN を設定できなくなる問題を修正致しました。 ケーブル診断が正しく動作できない問題を修正致しました。 D-Link Network Assistant において、既存の管理者パスワードを知らない場合でも管理者パスワードを変更できる問題を修正致しました。 CVE-2015-1789 の脆弱性を修正致しました。 MAC ACL において 2MAC アドレス以上 Deny にすることができない問題を修正致しました。 ポートミラーリングを有効にして再起動すると、ポートミラーモードが無効になる問題を修正致しました。

既知の問題：

ファームウェア バージョン	既知の問題点
4.10.004	特になし

Copyright 2006-2016 D-Link Japan K.K.